

## Gunze 宇部興産と共同開発 OA機器用中間転写ベルト材料「半導電性ポリアミド酸溶液」 低コスト、低環境負荷の中間転写ベルトの量産化を実現

Gunze株式会社(本社:大阪市)は、宇部興産株式会社と共同で、カラー複合機などに使用される中間転写ベルト「ポリイミド製シームレス転写ベルト」を低コスト、低環境負荷で生産できる原材料「半導電性ポリアミド酸溶液」を開発し、2015年春より量産を開始します。



中間転写ベルト

### 開発背景

中間転写ベルトとは感光体ドラム上のトナーをいったん転写し紙に付着させる複写機の中心機構です。Gunzeはポリイミド製シームレス(継ぎ目のない)ベルトを1997年に世界で初めて量産化し、OA機器のカラー化に貢献してきました。

ポリイミド製転写ベルトは製造工程で有機溶媒を使用するため環境負荷が高く、製造コストも割高な一方、電気抵抗の安定性と耐熱性に優れており、画質の美しさとスピードが求められる高機能機種で採用されています。

しかし、近年のIT化に伴うペーパーレス化の進行や、プリンターの新興国市場拡大により低コスト化が求められています。今回の「半導電性ポリアミド酸溶液」の開発により、従来より低コストで、環境負荷低減も実現できます。

### 概要

Gunzeは宇部興産と共同で、有機溶媒の使用を低減しながらポリアミド酸組成物にカーボンブラックが均一に分散した「半導電性ポリアミド酸溶液」の開発に成功しました。一般的な原材料に比べ固形分濃度が約2倍となり、製造効率が大きく改善しました。さらに有機溶媒の使用量を削減できるため、環境負荷の低減にもつながります。

Gunzeでは、この原料を使用した中間転写ベルトを複数のOA関連メーカーにサンプル出荷し評価を進めており、2015年春より量産を開始します。

この原材料を使用することで、画像の美しさを求められる高機能機種向け中間転写ベルトのコストダウンが実現するとともに、価格競争が激しいローエンド市場(A4機、プリンター)への拡大を進めます。

更に、二次転写ロール(中間転写ベルト上のトナーを用紙に転写する部材)や紙搬送ベルトなど、新たな用途への拡大を進めます。

以上

### 本件に関するお問合せ先

報道関係の方からのお問い合わせ 広報IR室 TEL:06-6348-1314 (担当/富岡・渡辺)

お客様からのお問い合わせ エンプラ事業部 TEL:03-3276-8716 (担当/牛田)

■GUNZEホームページ <http://www.gunze.co.jp/> ■エンプラ事業部サイト <http://www.gunze.co.jp/epd/>